

報道関係者各位

2020年4月17日

## 目の健康を気にするシニアに快適な「光ストレス※1対策」をお届け “限りなく透明に近い”見た目を気にせず着用できるブルーライト&UVカットレンズ 「ピュアブルー UV」を4月20日（月）より店頭発売開始

株式会社ニコン・エシロール（本社：東京都墨田区 代表：ニコラ・バルビエ）は、紫外線やブルーライトの中でも特に有害とされるナチュラルブルーライト（太陽光）をカット※2し、黄ばみなく限りなく透明に近いレンズ「ピュアブルー UV」を2020年4月20日（月）より店頭発売開始します。

※1太陽光が発する、紫外線・ブルーライト・まぶしさが与えるストレス

※2紫外線400nmまで100%カット、ナチュラルブルーライト（400-420nmの光）を約80%カット



**ピュアブルーUVが切り開くクリアレンズの新時代**

光ストレスフィルター

- 紫外線400nmまで **100%カット**
- ナチュラルブルーライト\*を **約80%カット**

紫外線&ブルーライトを含む光

ピュアブルーUVのクリアさをぜひお店でご体験ください

一般的な無色レンズ      ピュアブルーUV

※背景がそれぞれのレンズの写真です

私は妥協しない  
黄ばみフリーのブルー&UVカットレンズ

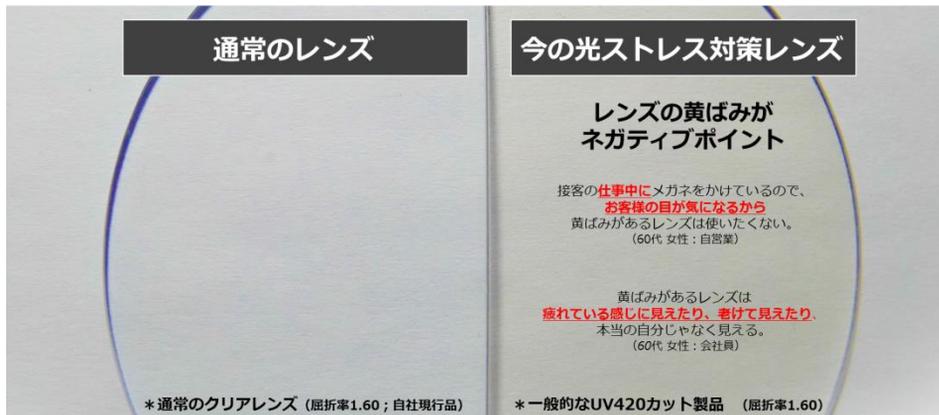
**PURE BLUE UV**

※イラスト写真はイメージです

紫外線やブルーライトが目に影響があると報告されていますが、眼鏡DB2018の消費者アンケート調査※3によると、60代以上のシニアの方々に紫外線やブルーライトに対し、レンズ対策を行っている人は2割のみと、多くの方が光から生まれるストレスへの対策ができていないことがわかりました。また、2019年7月に60-69歳を対象に実施したブルーライトカットレンズに関する調査※4によると、黄ばみのあるレンズを装着していると「疲れている感じに見える」、「老けて見える」などの理由から、約70%のシニアの方々が「無色のクリアレンズを使いたい」という意向があることが明らかになりました。

※3眼鏡DB2018 消費者アンケート調査 60代以上 (n=3,033)  
 ※4ブルーライトカットレンズに関するWEB調査 2019年7月 60-69歳男女 (n=42)

### 今出回っている光ストレス対策レンズは「黄色い」



ブルーライトカットレンズに関するWeb調査 2019年7月 60-69歳 男女(n=42)  
 ブルーライトが気になる方 | 現対策なしレンズユーザー

## すべての方に目の安心と快適を届ける「新」スタンダードレンズ “限りなく透明に近い” ブルーライト&UVカットレンズ「ピュアブルー UV」

「ピュアブルー UV」は、レンズの色味や見えづらさが理由で、紫外線やブルーライトなど光のストレスへの対策を行っていない、または不快な思いをしながら対策を行ってきたシニアの方々に始めとする、全ての方々に、快適で安心できる日常をお届けするために開発されました。

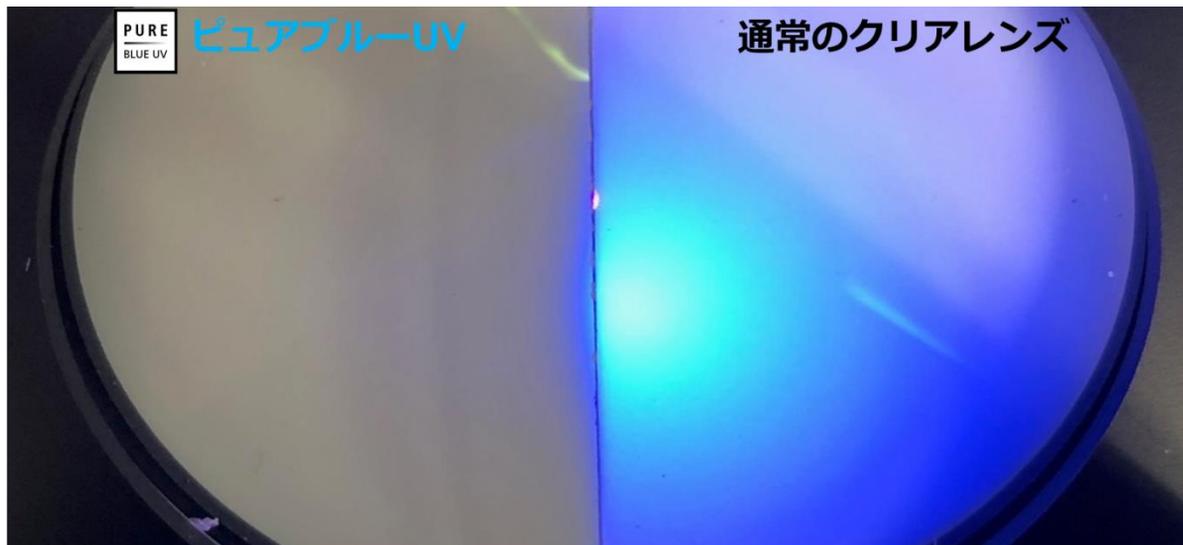
本商品は目の健康に影響のある紫外線やナチュラルブルーライトなど光ストレスをカットするだけでなく、通常のクリアレンズ同等の透明度で黄ばみがなく、また装着時の視野の明るさについても、72%の人がクリアレンズと同程度明るいという回答※5しており、室内でも暗さを感じないブルーライト&UVカットレンズです。

※5ブルーライトカットレンズに関するWEB調査 2019年7月 40-79歳男女 (n=55)

### 通常のクリアレンズと透明度がほぼ変わらない



通常のクリアレンズは紫外線の100%カットはできず、ブルーライトは通してしまう



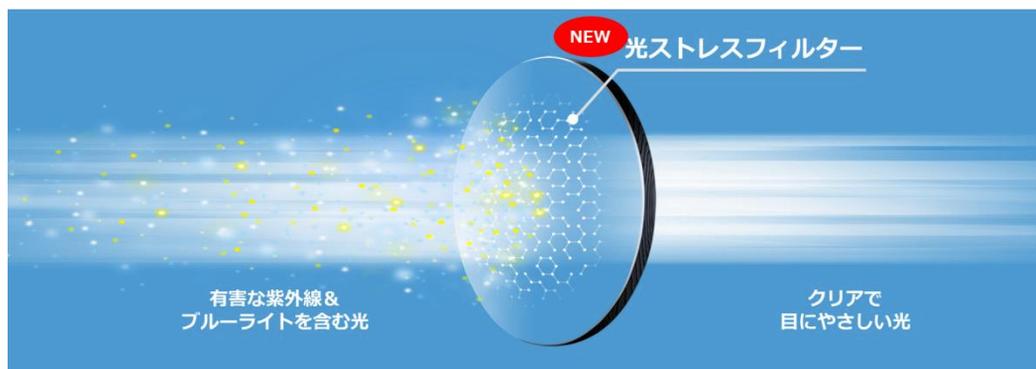
\*405nmのブルーライトを光源とする照明を照射

新開発・光ストレスフィルターが「ケア&クリア」を両立

紫外線・ナチュラルブルーライトを  
カット

&

対策なしのクリアレンズ同等の  
クリアさ



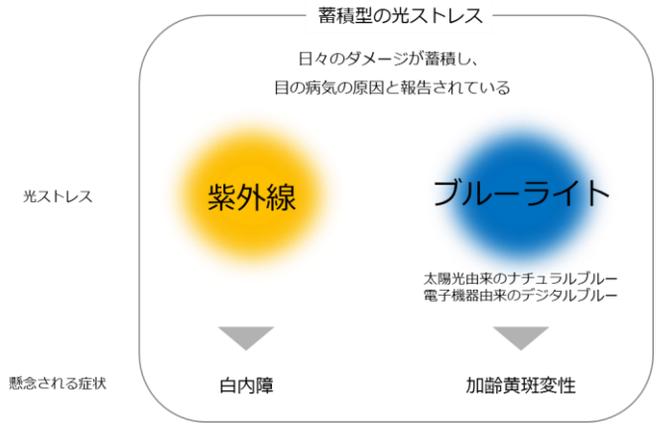
## ■光ストレス監修者プロフィール



川端 秀仁/医学博士、かわばた眼科院長

日本眼科学会、日本コンタクトレンズ学会、日本斜視弱視学会、日本ロービジョン学会に所属。大阪大学理学部、早稲田大学理工学部大学院、千葉大学医学部大学院で医学博士号を取得。

「紫外線、ブルーライト、まぶしさ」は、私たちの日々の生活のストレスとなりうる、「光ストレス」と考えられます。光ストレスを理解し対処する「光ストレス対策」は、これからのアイケアにおいて非常に大切です。



紫外線の対策が必要なのは肌だけではありません。目は紫外線を浴びすぎると、雪目と言われる急性の紫外線角膜炎や、翼状片、白内障などの病気を引き起こすことが知られています。

また、紫外線に加え、紫外線に近い高エネルギー可視光線であるブルーライトについても注意が必要です。太陽光からのブルーライトはデジタル機器の100倍から500倍のエネルギーを持つと言われ、長時間浴びることは加齢黄斑変性などの症状との関連性も報告されています。

これら「光ストレス」が原因とされる症状は60歳以上の患者さんに多く現れますが、60代になって目が急に光に弱くなったというよりは、若いころからの「光ストレス」から来るダメージの蓄積が原因だと考えることが妥当なため、できるだけ若いうちから「光ストレス」の予防対策を始め、60代以降もずっと続けることが大切です。

自然光に含まれるブルーライトは、日中の活動を高める効果など有益な働きもあるため、日中、適量の太陽光を上手に取り入れながら紫外線・ブルーライトなどの「光ストレス」から身を守る「光ストレス対策」を行うことが大切です。

## ■商品概要

商品名称：ピュアブルー UV

店頭発売開始日：2020年4月20日（月）

特徴：①黄ばみのないレンズ

-UV420カテゴリー商品中、最もクリアレンズに近い

②紫外線&ブルーカット

-紫外線400nmまで100%カット、ナチュラルブルーライト（400-420nmの光）を約80%カット

③明るい見え心地

-クリア品質同等の明るさで室内でも暗く感じにくい

対応商品：①老眼対策レンズ

ロハス シリーズ・ NEOSスタイルスタンダードシリーズ

②単焦点レンズ

シーマックスシリーズ・ビューフィットシリーズ・ニコンライトシリーズ・SVシリーズ

③疲れ目対策レンズ

リラクシーデュオシリーズ・シフトオン

※屈折率 1.74/1.64/1.60に対応

※特注での対応となります。

## ■会社概要 URL: <https://www.nikon-essilor.co.jp/index.htm>

会社名：株式会社ニコン・エシロール

本社所在地：東京都墨田区両国2-10-8

代表取締役社長：ニコラ・バルビエ

事業内容：眼鏡レンズと関連商品および補聴器の開発、製造、輸入、販売、流通、サービスの提供